

教育委員会における危機管理調整費の執行状況について

新型コロナウイルス感染拡大の第2波・第3波に備え、県内における「オンライン教育」の一層の推進と、「GIGAスクール構想」の加速化を図るため、令和2年度4月補正予算の危機管理調整費を活用し、意欲ある市町村からの手挙げ方式による「オンライン教育」のモデル事業を創設した。

1. モデル校及び実証内容

- ◇上板町：高志小学校
 - ・学校と家庭の学びの連続性に関する実証
- ◇阿南市：桑野小学校
 - ・GIGAスクール時代の情報モラル教育に関する実証
- ◇美馬市：穴吹中学校
 - ・Web会議システムを活用した授業改善等に関する実証
- ◇三好市：東祖谷小・中学校
 - ・外部機関との連携による学びの充実にに関する実証

2. モデル校での取組内容

- ・学校での教育活動における効果的なICTを活用した実証研究
- ・有事における遠隔授業を想定した実証研究
- ・教員のテレワークに関する実証研究

3. モデル校環境整備（県無償貸与）

- ◇児童生徒、教員が使用するタブレット端末
 - ・高志小108台、桑野小107台、穴吹中76台、東祖谷小中50台
- ◇家庭に通信環境の無い児童生徒用モバイルルータ
 - ・家庭の通信環境を踏まえた必要台数
- ◇Web会議システム
 - ・教員54名分のライセンス
- ◇教育クラウドサービス
 - ・まなびポケット、オフィス365などを予定

4. 予算額

危機管理調整費 20,000千円

5. スケジュール

- ・5月22日（金）市町村からの募集開始
- ・6月 1日（月）応募締切
- ・ 3日（水）モデル実証校決定
- ・ 5日（金）実証開始（令和3年3月31日まで）